

# 福岡公民館だより 1月号

発行：ふくおかまちづくり協議会 福岡公民館 TEL72-2144

あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願いいたします。



令和8年元旦

ふくおかまちづくり協議会職員一同

この1年を振り返ると、私自身、带状疱疹とインフルエンザを続けて患い、病院通いでてんでこ舞いの時期がありました。その時は薬漬けの日々でした。改めて普通に健康で暮らすことの大切さをひしひしと感じる1年となりました。皆様方も健康にはご留意していただきたいと思います。

そして、地元の遺跡歴史など勉強し知識を増やすことが大好きです。公民館に在籍していると地元のことや昔のことを聞かれることが非常に多いです。最近では大学からの変わった依頼もたくさんあります。富山大学の教授から「福岡地域の方言のことを教えてほしい」と依頼され、公民館を挙げてアンケートに協力したりしました。そういったどんな細かいことにも対応し、地域の皆さんにたくさん足を運んでいただける公民館を目指していきます。

また、中津川市の文化・スポーツ施設がネット予約できるようになり1年が経ちました。福岡公民館を利用している団体・サークルは約60団体あります。その多くの団体にはネット予約の利用をして頂いております。福岡のみの普及率は約80%ほどです。これは他の施設と比べると素晴らしい普及率です。皆様のご理解ご協力あってこそだと思っています。

少子高齢化の現在、高齢者が元気に活動している姿はよく見かけますが、子どもたちの姿を目にする機会が減っています。実際、公民館で活動している方も高齢となり、小学校が移転したこともあります。図書館に来てくれる子どもたちは減少しています。そんな中、今年度の乳幼児学級は、近年最多の16組の親子が参加してくれています。近所に同じ年頃のお子さんがいないということが普通になっています。公民館に来れば同年代の子どもたちに会える、遊べる、居場所がある。そういった居心地のいい公民館になるように、職員一同取り組んでいけたらと思っています。

今年も、公民館を訪れる方々との出会いを楽しみにしています。

公民館長 杉江



## 脚光を浴びる歌舞伎小屋

映画「国宝」の大ヒットにより歌舞伎に興味を持つ方が非常に多くなってきました。「本物の歌舞伎を見たい。」「歌舞伎小屋を見てみたい。」という人が多く、常盤座にも観光バスツアーや個人の見学者が増加しています。

今年の常盤座歌舞伎定期公演は、そんな「国宝」に触発される形で、例年以上の方に来場していただきました。

古き良き佇まいを保っている常盤座の良さが広まり、演劇公演やコンサートなどの利用が増えてきています。今後も、常盤座から目が離せません。



## 図書室まつり開催しました

今年の図書室まつりでは、オリジナル缶バッジを作成しました。自分の好きなキャラクターや、アイドルの写真など持参し、世界で一つだけの推しグッズができました。

また、絵本の読み聞かせでは、みんな真剣に聞いてくれ、「おもしろかった」と感想を聞かせてくれました。古本市も開催され、多くの親子連れの方々が楽しんでいました。



世界に1つだけの缶バッジ作り



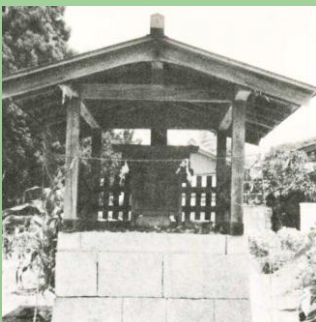
絵本の読み聞かせ



古本市

## ふくおかの偉人シリーズ No.7

### 安保又左衛門ってどんな人？

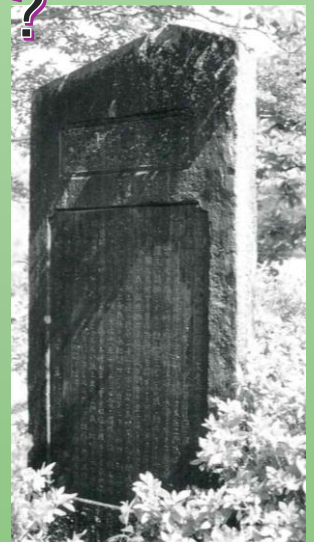


安保又左衛門の祠(ほくら)

福岡村安保家4代目彌七郎の次男として生まれ、下野の馬場に移住する。

江戸時代の下野の馬場は、水の便が悪く、百姓は田んぼへ水を引くのに苦労していた。安保又佐衛門は、この土地に水を引いて米作りができないかと考え、馬場用水を計画し、完成させる。しかし、藩命に逆らったということで死罪となる。村の人々は、安保又佐衛門の功績を讃えて、享保11年(1726年)に「祠(ほくら)」を建立される。

また、馬場用水組合の有志によって、昭和38年(1963年)に安保又左衛門頌徳碑を法界寺山門前の馬場用水の畔に建立される。



安保又左衛門頌徳碑